



男女共同参画情報誌

# あなたとわたし

vol.59

性別や年齢、国籍などの違いを超え、平等にともに手を携える関係でありたいから



～自分らしく輝く～

## 多様な性について考える

～みんなちがって、みんないい～



※タイトル中の「みんなちがって、みんないい」は、金子みすゞ「わたしと小鳥とすずと」より

### 「あなたとわたし」デジ版について

目の不自由な方で、デジ版「声のあなたとわたし」を希望される方に配布しますので、ご希望の方はお申込みください。

【問合せ】福生市生活環境部協働推進課 電話 042-551-1590

一人ひとりが持っている個性は様々です。

周りや違うことで、悩んだり苦しんだりしている人もいます。皆が一律に同じでなくてもいい。それぞれが違って、一つひとつが素晴らしい。一人ひとりの個性が輝くことで、多様化する社会は、色彩豊かな輝きを織りなすことなのでしょう。

## 🌈 多様な性について考える

最近、LGBTという言葉がよく聞かれるようになりました。誰もが自分らしく生きていく社会を実現するためには、LGBTを含む多様な性を尊重し合うことが大切です。差別や偏見があることから、苦しんでいる方も多くいます。

今回は、LGBTを通して、多様な性について考えてみましょう。



## 🌈 「LGBT」とは？

「LGBT」という言葉がよく聞かれるようになりました。

これは、言葉の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的少数者(セクシュアルマイノリティ)を表す言葉の一つとして使われています。



<b>Lesbian</b>	レズビアン、女性の同性愛者(心の性が女性で恋愛対象も女性)
<b>Gay</b>	ゲイ、男性の同性愛者(心の性が男性で恋愛対象も男性)
<b>Bisexual</b>	バイセクシュアル、両性愛者(恋愛対象が女性にも男性にも向いている)
<b>Transgender</b>	トランスジェンダー(「身体の性」は男性でも「心の性」は女性というように、「身体の性」と「心の性」が一致しない)

LGBT以外にも、男性、女性のどちらにも恋愛感情を抱かない人や、自分自身の性に疑問を持つ人など、さまざまな人々がいます。

性について考えるとき、「男性」と「女性」に単純に分けられるものではなく、身体の性(身体的特徴で分けられる性別)、心の性(性自認。自分の性をどのように認識しているか)、好きになる性(性的指向。どのような性別の人を好きになるか)などの様々な要素で、その人の性が成り立つと考えられています。

### コラム

#### ～ ご存知ですか？ これも差別用語になります ～

「ホモ、オカマ、おなべ、おとこおんな…」など、こうした言葉が使われていたり、耳にしたことがあるかと思いますが、何気なく使われ、傷ついている人がいるかも知れません。普段の会話の中から気を付けていきましょう。

## 🌈 「レインボーフラッグ」を知っていますか？



レインボーフラッグ

「レインボーフラッグ」とは、LGBTの尊厳とLGBTの社会運動を象徴する旗です。この旗は、1978年、サンフランシスコのギルバート・ベーカー氏により考案されました。ベーカー氏は、すべての色を含み多様性を表す虹を思いつきました。LGBTだけでなく「人間の多様性を守る」という思いを込め、デザインをしました。当初は8色でしたが、現在では、広く調達可能な6色(赤、橙、黄、緑、青、紫)となり、世界中に広まりました。日本でもLGBTの権利を求める運動などで使われています。

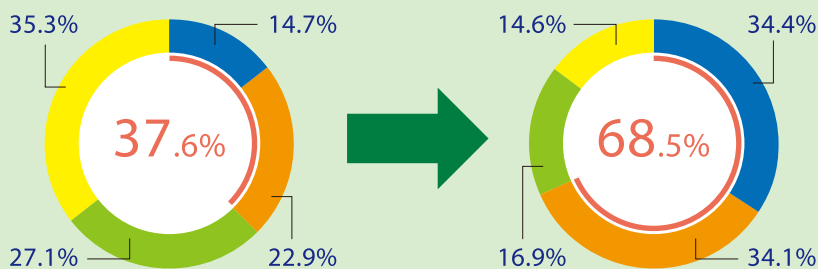
# LGBTに関する調査から



(株)電通内の専門組織「電通ダイバーシティ・ラボ」は、2018年10月に全国20～59歳の個人60,000人を対象に、LGBTを含む性的少数者=セクシュアル・マイノリティ(以下「LGBT」層)に関する広範な調査を行いました。その結果、LGBT層に該当する人は8.9%、「LGBT」という言葉の認知度は68.5%となりました。

※2018電通ダイバーシティ・ラボ調べ。(60,000人のスクリーニング調査後、6,229人を対象に行った。)

## LGBTという言葉の認知度は？



2015年調査

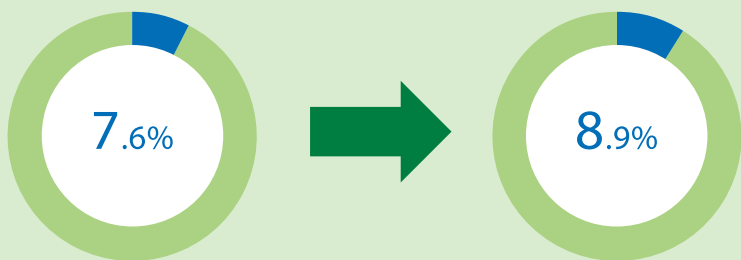
2018年調査

■知っている ■何となく知っている ■聞いたことはあるがよく知らない ■知らない

「LGBT」とはセクシャル・マイノリティ(性的少数者)の総称のひとつということを知っている人は約7割に。

2018年調査では68.5%となり、2015年調査の37.6%から30.9ポイントと大幅に上昇しました。LGBTに関する認知度や理解度が、進んでいると考えられます。

## LGBTである人の割合は？



2015年調査

2018年調査

約13人に1人がLGBT

約11人に1人がLGBT

LGBT層の割合は8.9% (約11人に1人)に。

LGBT層に該当する人は2015年調査の7.6%から、8.9%になりました。自らの性についてを自覚し向き合う人たちが存在しています。

## LGBTを特集して

性のあり方は実に多様で、男女どちらにも恋愛感情を抱かない人や、自分自身の性に疑問を持つ人もいます。自分をありのままに表現できず、苦しんでいる人たちがいます。自認する性などの違いで、学校でいじめにあったり、就職で差別を受けたりすることがあってはなりません。誰もが自分らしい生き方や働き方を実現する権利を持っています。

それを実現させるためには、当事者以外の人たちも、LGBTへの理解を深め、互いの違いを受け入れあえる、多様性を認め合う社会をつくるのが大切なのだと思いました。



# 多様な性ってなんだろう？



～互いの違いを受け入れあえる社会を目指して～

## 取材しました！

さくら会館で2月2日に「男女共同参画セミナー」が開催されました。講師は、認定NPO法人ReBit(リビット)のメンバー、教育事業部マネージャーの小川奈津己さんとミクさんのお二人でした。

この団体は、LGBTを含めた全ての子どもが、ありのままの自分で大人になれる社会を目指して活動を行っています。

LGBTへの理解を広げるため、全国の学校・行政機関等で子ども、教職員、行政職員等を対象に数多くの出張授業や研修を行っています。また、行政機関や大学等と連携し、教育現場向けの教材なども開発しています。

講義では、講師が実際に経験した学校生活や就職に関する事柄を通して、当事者の方がどのような思いで、どのように感じているかを分かりやすくお話いただきました。また、性同一性障害の多くの方が、自殺を考えたことがあるそうです。特にこのような思いが高まる時期は、第二次性徴期と言われています。子どもたちがどのような性自認などを持っていても、本人も周囲もそれを否定せず、それぞれが受け入れられる社会でなくてはならないと強く感じました。

現在、8.9%（約11人に1人）の割合でLGBTの方が身近にいるとも言われている中、知人からLGBTであることをカミングアウトされるかもしれません。その時は、相手がどんなに勇気を持って、そして、あなたを信頼して話してくれるのか、相手の思いを考えながら、対応をしていくことが必要だと思いました。

LGBTに対しての理解が更に深まり、とても有意義な一日となりました。



講師のお二人 おがわ なつき 小川 奈津己さんと ミクさん



教育現場向けのLGBT教材

広告を募集しています！ 次号は8月発行予定です(全戸配布)

「あなたとわたし」に掲載する広告を募集しています。

規 格：4.5センチ × 9センチ。各号2枠

広告料：1枠：15,000円

※申込み用紙は、市のホームページからダウンロードできます。

内容により広告掲載できない場合がありますので、詳しくはお問い合わせください。

問合せ：福生市生活環境部協働推進課 電話 042-551-1590

## 編集員を募集しています！

編集に興味がある方、何かやってみたい方！

お待ちしております！（無償ボランティア）

ご意見、情報もお待ちしています！

問合せ

福生市生活環境部  
協働推進課まで！

# 042-551-1590

### 編集後記

●「人の数だけ、性のあり方がある」「LGBTの人は身近な存在である」とは、考えもませんでした。「誰もが生きやすく」とはどういうことか、自分ごととして考えていきたいと思います。……[田中]

●LGBTなどの多様な性への理解者が増えれば、子どもたちもありのまま生きられる。学校生活や職場などで自分らしく表現できる社会となることを願います。……[M]

### 市民編集員

○田中 直美 ○波多 佳乃 作製：(有)あっぱ印刷工房 協力：金 相範(編集)

### あなたとわたし vol.59 2019年3月発行

発行：福生市 生活環境部 協働推進課

〒197-8501 東京都福生市本町5番地 電話042-551-1590

<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>



再生紙を使用しています